

〈実践報告〉

中学校に於ける音楽指導の実践 —模範演奏と学生による合唱指導

眞野悦子

1. はじめに

音楽教育では、子どもたちの心を育てる教育、“音楽の力、素晴らしさ”を伝えることの出来る指導者を育成することが重要である。声楽であれば歌うことを通して美しいメロディーや豊かな響き、作詞者・作曲者の意図するところを伝えることが出来る指導、そして生徒たちにエネルギーを送り心に火をつける、そういう機会を作ることが出来れば音楽のプロにならなくても生涯の豊かさにつながるだろう。学校教育で育成すべき学力の内容とは、学校教育法第30条第2項によると

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに特に意を用いなければならない。

とされている。

2. 「声楽指導法」について

平成27年度より大阪芸術大学音楽学科音楽教育コース4年次に於いて選択必須科目として開講されている。今回の実践レポート“中学校に於ける音楽指導の実践”は、この授業の中でも取り組み、中学校での指導に参加する受講生は、合唱指導を実践している。

この授業は、中学校・高等学校の教職に就く音楽分野の指導者および受験生、声楽を学ぶ人の指導者を育成することを目的とし、受講生が自分の感性を養い、演奏技術を習得し、よりよい指導が行えることを目標とする。

また、あらゆる場面を想定した指導法を組み立て、多様性を高めるためにディスカッションを行い、最終的には模擬授業の形で実践できるようにする。

この授業は、年間30回開講され、前期15回は、中学校の音楽教科書より主に共通教材を題材に、曲の背景や楽譜から意図することを読みとり指導法を研究する。後期15回のうち9月から10月15日までの4回の授業では、今回のテーマである“中学校での合唱指導”のため、課題曲を使って指導法を研究し、模擬授業ができるようにする。それ以降の授業は、高等学校の音楽教科書より、また声楽を学ぶ人のための課題となる曲より選曲している。

授業の中で呼吸法、美しい声の響き、発音等を毎回練習し、互いに聴き合いディスカッションする。指導するためには、“歌って見せる”ことが大切である。“基礎力の習得なくして良い指導はできない”と考える。発声の技術の指導は、指導者にとって最もスキルが要求されることである。

3. 地域とのつながり

中学校では、全国的に10月下旬に合唱コンクールが実施され、各校で練習が盛んに行われている。そんな中、平成20年度より近隣の中学校2校から合唱指導の依頼を頂き、音楽学科、演奏学科の学生が公募により参加し実践している。

私は、平成26年度から音楽鑑賞会での指導と指揮、合唱指導を担当している。

4. 中学校に於ける合唱コンクールの意義

中学校に於ける合唱コンクールは「特別活動の中の学校行事」のひとつとされている。各クラスで指揮者や伴奏者を決め、課題曲と自由曲を歌い歌唱力を競う。クラス全員でひとつのものを創る“音楽を演奏する”という教育環境は、子どもたちの感性や理解力、技術力、アンサンブルする精神を育む。

5. 合唱指導の準備

音楽教育コース4年次は、声楽指導法の授業の中で9月、10月の数回で準備している。しかし現時点では、公募で参加する学生の専攻・学年が様々なので、参加学生がそろいやすい授業終了後の90分を数回、練習にあてている。そこで模範演奏の練習と指導の準備をし、音楽教育コース4年次の学生が模擬授業を行い、リードしている。


10月に入ると中学校より、クラスの様子や指導に向けての要望が届き、可能な限りその要望に対応出来るように準備していく。コンクールの2、3週間前と言う時期で、50分の授業の中で効果が上がるように考える。また模範演奏の練習を通して、楽譜から詞の内容、発音、背景、曲の構成、強弱、テンポ、フレーズング等を読み取り、指導出来るようにする。

〈中学校2校より届いた要望〉要約すると下記のようなになる。

発声について

- ① リラックスして歌えるように指導して欲しい。
- ② 歌うときの姿勢を教えて欲しい。
- ③ 声量が出るように指導して欲しい。
- ④ 地声を美しい歌声にする方法を教えて欲しい。
- ⑤ 楽しい発声法を教えて欲しい。

楽譜の読み方と歌唱技術について

- ⑥ 男性1名、女性1名で各パートの歌い方を指導して欲しい。
- ⑦ 音程を正しく取れるように指導して欲しい。
- ⑧ 強弱、、フレーズイング等の工夫を教えて欲しい。
- ⑨ 曲の盛り上げ方、変化を教えて欲しい。

その他

- ⑩ 皆で歌う楽しさを感じさせて欲しい。
- ⑪ ステージマナーを教えて欲しい。

〈参加する大阪芸大生への指導—要望に応じて〉項目番号は要望の項目番号に対応している。

発声の指導

- ① ストレッチ体操をさせる

リラックスすると同時に楽器としての身体の機能を高める。例えば、高い所のモノを取るようにグーッと腕を伸ばす。手のひらは外側を向け、片方ずつ行う等、個々に自分のやり方を考えて指導する。

- ② 歌うときの姿勢と呼吸を身につけさせる

背筋をまっすぐに立つ — 寝ている感じで首が前に出ないように立つ。確認しあう。

肋骨を拡げてキープする — お腹に壁をつくる感じでキープする。

足先は外に向ける — 胸郭が拡がり、腹筋が使いやすくなる。

胸を上げてキープする — 胸が下がらないように腹筋を張りながらスーッと細く吐く。

息を吐き切ったら、自然に息が入る。

上記の姿勢を保ち身体でしゃべる感覚を持って歌わせる。

③④ 共鳴を意識させる

顎の力を緩め、音の出口の形を正しくつくる。

いびきをかくような感じで軟口蓋を上げる。

低声 —— 口の中をコンパクトにし、胸と鼻腔を響かせる。

中声 —— 眼の下あたりに響きを感じて歌わせる。

高声 —— 「キヤー、ヒュー」等、歓声、叫び声のように出させる。

⑤ 音階練習を行う

中学生が楽しんで出来るように工夫する。例えば「ワァーワァー、イヤァーイヤァー」や巻き舌等で歌わせる。

一緒に歌って見せ、感じをつかみ取らせる。

楽譜の読み方と歌唱技術についての指導

⑥ 男性1名、女性1名でそれぞれのパートの役割を意識して、パート練習をさせる。

歌って指導できるようにしておく。

⑦ 曲の音程を正しく取るためにはパート練習の中で、歌詞ではなく母音に子音をつけてKa - Ka -, Gu - Gu - のように歌わせる。それによって腹筋が自動的に使え、早く上達する。

⑧ 強弱、リズム、音程、発音、フレーズイング等は、模範演奏曲6曲の練習をする中で指導する。それを中学生への指導に役立てる。

⑨ 曲のメリハリをつける

歌詞を何度も読み、楽譜から曲を分析し、何を伝えたいかを理解し、メロディーの歌い方、テンポ、強調するところ、抑えるところを考えて演奏させる。

その他

⑩ 合唱の楽しさを感じさせる

皆で声を聴きあい、歌詞の意味や情景を思い浮かべて歌うことによって得られる共感と、それが聴く人に伝わる喜びを感じさせる。

⑪ ステージマナーについての指導

ステージの入退場は靴音を立てず静かに歩く。

リラックスして良い姿勢で立つ。少し微笑むと良い。

下を向かないように気をつける。

指揮者が手をあげたら集中するように指導する。

〈参加する大阪芸大生への指導—模擬授業〉

合唱指導の進め方、時間の配分は下記の例に沿って行えるようにする。

《合唱指導の進行例》

(2分) ①あいさつ (明るく、笑顔で)

(8分) ②楽しい発声練習

(5分) ③演奏を2曲通して聴き、問題点を見つける

(5分) ④曲の内容を理解し、イメージ出来るようにする

(説明するのではなく、生徒からの自発的な発言を引き出す)

(15分) ⑤技術的な面を解決出来るよう、パート練習等する

(15分) ⑥全員で合わせ、完成度を上げる

以上のような流れで授業を進めるが、学年やクラスによって完成度も異なるので、時間の使い方はあくまでも目安である。50分の授業で成果を出すためには、発声の指導が重要であると考えている。声が美しく出せるようになるとハーモニーも歌唱力も向上し、歌う楽しさにつながる。

《合唱指導に行く前の準備の様子》

中学校からの要望により、男子1名、女子1名での模擬授業を行う。



6. 合唱指導当日

〈合唱指導 当日のスケジュール〉 参加学生数：19人

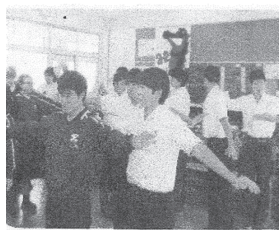
D 中学校

K 中学校

9:20	集合し、演奏用衣装に更衣 発声練習	12:50	演奏用衣装に更衣 発声練習
9:50	体育館で模範演奏 各学年の課題曲3曲と 信長貴富作品2曲	13:25	体育館で模範演奏 各学年の課題曲3曲と 信長貴富作品2曲
10:50～11:40	合唱指導（10クラス）	14:25～15:15	合唱指導（11クラス）
1年生	男女2組 女子2組	1年生	男女2組 女子1組
2年生	男女2組 女子1組	2年生	男女3組 女子1組
3年生	男女1組 女子1組 1人1組	3年生	女子1組 1人3組

参加した学生たちは、各学年の課題曲1曲、自由曲1曲を指導。中学校からの要望を受けて、可能な限り男子学生と女子学生の2人で担当するようにしたが、参加学生の人数により1人になるクラスもあった。

〈合唱指導の様子〉



ストレッチ体操



曲について説明



パート練習



大きく口を開けて



指揮者に集中

7. 合唱指導を終えて

合唱指導の実践終了後、中学校より“中学生からのお礼の手紙”“中学校の担任教師からの感想とお礼の手紙”が届いた。その数は、平成29年度では23クラス、700人分を超え、平成30年度では、21クラス、350人分を超えた。ここに、その内容の代表的なものを記載する。さらに“合唱指導に参加した学生の感想と反省”も抜粋で記載する。

中学生からのお礼の手紙（抜粋）

この間は、貴重な休日を私たちのために来て頂いてありがとうございました。ストレッチ体操、上手な歌い方、表現の仕方など勉強になることばかりでした。結果は惜しいものとなってしまいましたが、間違いなく全力を出せたと思います。中学校で合唱コンクールに参加できるのはこれが最後となってしまいましたが、次は高校で教わった知識を生かしたいと思います。

10月15日合唱コンクールの練習に来て、正しい口の開け方、姿勢、歌い方など教えて下さり、ありがとうございました。とてもいい教え方で分かり易かったです。おかげで今までとは違った歌い方が出来ました。またコンクール本番も上手く歌え、最優秀賞を取ることができました。

《カリブ夢の旅》で指揮をしていた〇〇です。

合唱コンクールでは教えてもらったことを生かし、みごと優勝できました。僕はベストコンダクター賞も取りました。忙しい中、来て頂いてありがとうございました。

先日はありがとうございました。大阪芸大生の方々の歌声はとても美しいハーモニーで感動しました。発声練習も楽しく、自分たちでは気づかなかった部分を指摘していただいたおかげでより良い合唱をすることができました。

中学校の担任教師からの感想とお礼の手紙（抜粋）

今回の大阪芸大生の合唱指導では良いところをしっかりと褒めてくれ、楽しくクラスを指導して下さいだったので、みんなしっかり声を出して歌っていました。的確にアドバイスもして下さい見違えるくらいに上達したように感じます。やはり音楽専門の方に指導してもらおうと生徒たちにとっても納得して練習する事ができ、良い経験になったと思います。

大阪芸大生の方々、ありがとうございました。しっかりやる内容を考えてくれて、最初の発声練習など楽しくできました。男女別のパート練習では的確に、このフレーズの部分ではここを意識して歌うなど、わかりやすい指導でとても助かりました。本番に向けてポイントを意識しながら生徒たちと頑張ろうと思います。

この取り組みは、いつも刺激になり子どもたちも喜んでいきます。今回は声の出し方や姿勢などの基本を教えて頂きました。もう少し時間があれば細部を指導して欲しかったです。大阪芸大生の方の指導は本当に丁寧で子どもたちのやる気も高まっていました。

合唱指導に参加した大阪芸大生の感想と反省（抜粋）

声の大きさや音程等、全て上手にできていて、今の私では教えられることがほとんどありませんでした。彼らが、もっとレベルアップできるようにアドバイスできなかったことが悔しいです。また来年、もっと中味のある指導ができるよう精進したいです。

男の子は元気が良く、大きな声で歌っていたのですが、ハミングのところや低音のところになると声がこもってしまうので、明るくなるように指導したつもりです。パート練習や合わせを通して、より良いものになっていったので良かったです。

声は、全体によく出ていました。女子は響きも良くしっかりと歌えていたので、強弱の弱の方も意識して歌うよう指導しました。男子は、息が続かず、クレッシェンドが苦手だったので、手前で大きく息を吸うことを伝えました。男女ともに良く歌えていたので、逆に自分の力不足を感じました。もっと指導できるように勉強したいと思います。

男女とも反応が良く、しっかり話を聞いてくれるし、自発的に質問もしてくれた。2曲の指導は時間が足りず、もう少しあればと思った。中学生の子どもたちと関わることは、私にとっても貴重な経験で勉強になりました。

女子は、顔が下を向いていたので、上げるようにすると声が明るくなった。男子は、声は大きいですが音程が取れていないところがあったので、ピアノで何度も弾いて聴かせ正しく取れるようにした。全体的には、言葉をはっきり、子音を丁寧に発音させると歌詞の意味が伝わりやすくなった。

まとめ

中学生たちの感想は「ストレッチ体操、発声練習は楽しく、姿勢、歌い方等、丁寧でわかりやすかった。大阪芸大生の歌声は美しく感動した。」

先生方の感想は「しっかりと褒めてくれ、発声練習も楽しく出来たので生徒達も自信を持って歌うようになった。アドバイスも的確で納得できるものだった。もう少し時間があれば、細部を指導して欲しかった。体育館での迫力ある演奏は、これからも是非、続けて欲しい。」

このように、中学校から届いたお礼と感想は、ほとんど良好なものであった。それは学生たちが要望に応えられるよう工夫し、さらに模擬授業を行ったことで合唱指導に対し現実味を持たせたからである。課題曲についても暗譜して模範演奏し、指導に臨んだからである。

また、参加した学生たちの感想と反省は「声の技術、曲想、表現についての指導をした。良く歌えるクラスでは自分の力不足を感じ、もっと良い指導ができるように勉強したいと思った。2曲を指導するには時間が足りなかった。中学生と接する機会は貴重な経験だった。」

学生たちは、こういう機会を前向きに捉え、体験を通して指導することの楽しさや難しさを知ることができたように思う。今後はこれらを生かし、さらにより良い指導を目指し素晴らしい音楽指導者になって欲しい。

8. おわりに

教員を目指す学生にとって、中学校での合唱指導を実践する機会がいかに貴重な経験であるか計り知れない。しかし、実践をするにあたり、とても重要な役割を果たす声楽指導法という授業は、音楽教育コース4年次生のみが開講されているのが現状である。授業の中で声楽の基礎的なことを指導出来るように取り組めればと思う。

最後に、このような恵まれた環境を与えて下さったK中学校・D中学校と、中学校と大阪芸大生の間で窓口となり、打ち合わせから実践が終わるまでお世話下さった就職課の皆さまと、練習から本番まで伴奏を弾いて下さった副手さんに対し、ここに感謝の意を表したい。

引用文献

『中等科音楽教育法』〔改訂版〕中等科音楽教育研究会 編 音楽之友社 2015年出版

合唱指導、実践の記録（平成26年度から平成30年度まで）

年月日 学校名	内 容	学生数	クラス数	課題曲	自由曲
平成26年 10月15日 D中学校	音楽鑑賞会 合唱指導	25	14	Believe マイバラード 旅立ちの日に	星座、心の瞳、時の旅人、 Cosmos、輝くために、野生の馬、 手紙、等14曲
平成26年 10月15日 K中学校	音楽鑑賞会 合唱指導	25	13	大切なもの Cosmos 南風	Believe、Tomorrow、チェリー、 空高く、風になりたい、少年時代、 旅立ちの日に、等13曲
平成27年 10月15日 D中学校	音楽鑑賞会 合唱指導	20	13	カリブ夢の旅 マイバラード 旅立ちの日に	きみにとどけよう、遠い日の歌、 桜の下で、信じる、星座、 Believe、等13曲
平成27年 10月19日 K中学校	合唱指導	6	12	Cosmos 大切なもの 旅立ちの日に	少年時代、チェリー、未来予想図、 マイバラード、明日へ、道、 カリブの夢、空高く、等12曲
平成28年 10月17日 D中学校	合唱指導	12	11	カリブ夢の旅 マイバラード 旅立ちの日に	きみにとどけよう、星座、明日、 時の旅人、春風の中で、心の瞳、 大切なもの、等11曲
平成28年 10月24日 K中学校	合唱指導	11	12	大切なもの Cosmos 時を越えて	道、青春の1ページ、絆、 あなたへ、遠い日の歌、輝くために、 瑠璃色の地球、等12曲
平成29年 10月12日 K中学校	模範演奏 合唱指導	14	11	大切なもの Cosmos 旅立ちの日に	With you smile、空高く、 カリブ夢の旅、あなたに会えて、 はばたこう明日へ、等11曲
平成29年 10月16日 D中学校	合唱指導	13	12	飛び出そう未来へ マイバラード 旅立ちの日に	Believe、きみにとどけよう、道、 春風の中で、心の瞳、絆、等12曲
平成30年 10月15日 D中学校	模範演奏 合唱指導	19	10	飛び出そう未来へ マイバラード 時を越えて	そのままの君で、Believe、明日へ、 Cosmos、変わらないもの、手紙、 友、YELL、等10曲
平成30年 10月15日 K中学校	模範演奏 合唱指導	19	11	夢を追いかけて 心の中にきらめいて 時を越えて	カリブ夢の旅、With you smile、 心の瞳、輝くために、絆、 あなたに会えて、等11曲